

いよいよ最終回となるソナタ・シリーズ、  
作曲家たちの最後の静かな訴えを

黄

YU KOSUGE

2026年 **7/28** (火) 19:00  
東京オペラシティ コンサートホール

Tuesday July 28, 2026 at 19:00 Tokyo Opera City Concert Hall

料金(全席指定): 一般 ¥6,000

学生 ¥3,000 (カジモト・イープラスのみ取扱い)

昏

PIANO RECITAL

小菅 優 “ソナタ・シリーズ” Vol.5

モーツァルト: ピアノ・ソナタ第18番 二長調 K.576

Mozart: Sonate für Klavier Nr.18 D-Dur K.576

ウェーバー: ピアノ・ソナタ第4番 ホ短調 op.70

Weber: Sonate für Klavier Nr.4 e-moll op.70

シューベルト: ピアノ・ソナタ第21番 変口長調 D960(遺作)

Schubert: Sonate für Klavier Nr.21 B-Dur D.960

主催: KAJIMOTO 協力: ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル



ついにソナタ・シリーズのゴール地点に達した。演奏会一つ一つが大きな課題だったが、最終回では更に大きな目標が私を待っている。

晩年に達すると、人は何を考え、感じるのだろう。今の私には想像しかできないが、最終回で取り上げる究極の3つのソナタには次のようなことが思い浮かぶ。どの作品も死神のような怖い存在と同時に、葛藤や苦悩を耐え忍んだ境地を超えた、寛大な優しさを。それぞれの凝縮された内容の中には、「まだ」というか、最後だからこそ訴えようとする、内なる炎が燃えている。

見事な対位法を用い、快活さを装いながらも、どこか寂し

いモーツァルトの最後のソナタ。苦悩と恐怖、和解と優しさ、ピアノの持ち味を使って華やかに表すウェーバーの最後のソナタ。そして青春の喜びや懐かしさ、苦境と哀しみの間を彷徨い、人生の全てを語る、儚いシューベルトの最後のソナタ。

抒情。この上ない完成度。そして哀しみを垣間見せながらも常に生きることへの愛を感じさせる深い感情。作曲家たちの最後の静かな訴えを、皆さまに聴いていただきたい。

## 小菅 優 (ピアノ) YU KOSUGE, *Piano*

高度なテクニックと美しい音色、深い楽曲理解で最も注目を浴びているピアニストの一人。

2000年にドイツ最大の音楽評論誌「フォノ・フォルム」より、ショパンの練習曲全曲録音に5つ星が与えられた。

9歳より演奏活動を開始、2005年ニューヨークのカーネギーホールで、翌2006年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタルデビューを行い大成功を収めた。

これまでにドミトリエフ、デュトワ、小澤、ノリントン、オラモ、ノットらの指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、BBC響、NDR北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響、フランス放送響、スイス・ロマン管などと共演。

ザルツブルク音楽祭では、イーヴォ・ポゴレリッチの代役としてフィリップ・ヘレヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演し、絶賛を博した。そのほか、紀尾井シンフォニエッタ(指揮:ティエリー・フィッシャー)のアメリカ・ツアーおよびハンスイェルク・シェレンベルガー指揮カメラータ・ザルツブルクの日本ツアーへの参加、服部譲二指揮ウィーン室内管弦楽団との共演、ロンドンのウィグモアホールでリサイタルなど、海外でも着実にその活躍の場を広げている。

2010年から15年にはベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会(全8回)を東京、大阪で行い各方面から絶賛を博した。そのほか、ソロだけでなく室内楽や歌曲伴奏を含む、ベートーヴェンのすべてのピアノ付き作品を徐々に取り上げる新企画「ベートーヴェン詣」にも取り組んでいる。2017年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催した。

録音は、ソニーから発売しているライアン・ウィグルスワース指揮 BBC交響楽団による『藤倉大:ピアノ協奏曲<インパルス>&WHIM/ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調』(第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞)をはじめ数多い。

第13回新日鉄音楽賞、2004年アメリカ・ワシントン賞、第8回ホテルオークラ音楽賞、第17回出光音楽賞を受賞。2014年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、2017年に第48回サントリー音楽賞受賞。

2023年より26年までピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト"ソナタ・シリーズ"を展開。

## チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

[www.kajimotoeplus.com](http://www.kajimotoeplus.com)

カジモト・イープラス 050-3185-6728 ※オペレーター対応(10:00~18:00)ホームページからもお申込みいただけます。

チケットぴあ <http://pia.jp/t/> (Pコード:317-227)

e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

東京オペラシティチケットセンター TEL.03-5353-9999



“kajimotomusic”で検索!



@kajimoto\_News



@kajimotomusic

好評販売中

カジモト・イープラス

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- ご来場の皆様に安心して聴きただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続きご協力をお願い申し上げます。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 ticket@kajimotomusic.com <https://www.kajimotomusic.com/>



小菅優のために書かれた藤倉大「インパルス」の超絶技巧  
ラヴェル最晩年のかがやきを刻んだ「ト長調の協奏曲」の酒脱

# 小菅 優

藤倉大:ピアノ協奏曲第3番「インパルス」/WHIM  
ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調

[演奏] 小菅 優(ピアノ)、ライアン・ウィグルスワース指揮 BBC交響楽団 [録音] 2021年11月 ロンドン(セッション録音)

世界で活躍するピアニスト、小菅優による協奏曲アルバムは、2009年の小澤征爾指揮する水戸室内管弦楽団とのメンデルスゾーン・アルバム以来およそ10年ぶりとなります。藤倉大のピアノ協奏曲第3番「インパルス」は、モンテカルロ・フィル、読売日本交響楽団とスイス・ロマン管弦楽団の共同委嘱作品で、小菅優に献呈されました。3つのオーケストラの初演すべてにおいて小菅優はソロを務め、大きな話題となったものです。同じ藤倉大の「WHIM」は、「インパルス」の日本初演時のリハーサル中に、藤倉大と指揮者の山田和樹に「カデンツァを聞いてほしい」と言って小菅優が弾いてみせたことから藤倉大が思いつき、カデンツァパートだけをソロ・ピアノ作品として独立して出版することにしたというユニークな出自を持つ小品。カップリングとなるラヴェルの名作「ピアノ協奏曲ト長調」とともにバックを務めるのはイギリスの俊英ライアン・ウィグルスワース指揮する名門BBC交響楽団。2021年に行われたセッション録音です。

Sony Music Japan International



好評発売中

定価 ¥3,300 (税抜価格 ¥3,000)

ハイブリッド・ディスク ● SLICX10016

(Multi-5ch) STEREO / Multi-ch

Hi-Res Audio DSD2.8 & 192kHz/24bit  
ハイレゾ配信